



島民の新しい翼就航!



広報 

令和2年 6月号 No.247

いしし富士

令和2年度 町執行方針

開町140周年



令和二年利尻富士町議会定例会三月会議の開会にあたり、町政執行に臨む私の所信と施策の基本的な方針を申し述べます。

昨年は、新天皇陛下が五月一日に御即位され、元号も平成から令和へと新しい時代の幕が開けました。

我が町では、島内で初めて利尻郡各村戸長役場が設置された明治十三年（一八八〇年）を起源として開町百四十年、「東利尻町」から「利尻富士町」へと町名を変更してから三十年の節目の年を迎えます。北国の厳しい風雪に耐えて郷土を開拓した先人の偉業を称え、本年九月三十日に記念式典を挙行する予定であり、冠を付けた各種記念行事や事業を展開する運びとなっておりますのでご協力下さいますようお願い申し上げます。

私が町長就任当初から基本的な考えを変えずに申し上げているとおり、五つの政策方針を更に充実させるため、今議会に関連する令和元年度各会計補正予算、令和二年度各会計予算を編成し、各条例の制定や一部改正などを提案しておりますが、「利尻富士町まちづくり創造総合計画」の指針に則り、今年度も様々なまちの課題に全力を傾注して町政を執行してまいりますので、議員各位並びに町民皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

一、豊かな浜の実現と 滞在・体験型観光の整備

始めに、本町の基幹産業である水産業の状況についてですが、昨年の利尻漁協における町内の漁業生産額は、計画していた十六億三千九百万円を五千九百万円上回る十六億九千八百万円となりました。対前年比でいいますと三億六千七百万円の減産ではありますが、過去十年間の生産額と比較しますと、ほぼ平年並みの生産額に落ち着いたところであります。

近年における水産環境の変化、特に「磯焼け」の進行は、コンブやウニ、ナマコといった根付資源の生育環境に大きな影響を与えています。その要因は、地球温暖化など過去に例のない海洋環境の変化や資源の長期的変動、そして資源管理上の問題など、簡単に解決できるものではないと推測致しますが、根付資源を持続的に生産するためには「つくり育てる漁業」、「管理する漁業」といった原点ともいえる取り組みを継続させていくことが何より重要であると考えます。

さて、新年度における水産振興の取り組みでございます。まずは担い手対策ですが、新たに五名の漁業後継者に対し磯船を贈呈する予定となっております。また、去る二月十五日に札幌市で行われた北海道漁業就業支援フェアにおいて、新たに三名の漁業就業希望者の受け入れを予定しており、今後も支援を継続してまいります。

次に水産基盤整備事業ですが、鴛泊魚礁設置工事を継続実施することとなっております。また、漁港関係では雄志志内漁港と本泊漁港の機能保全事業を、海岸関係では雄志志内海岸の津波・高潮危機管理対策緊急事業による護岸整備を継続して実施してまいります。

港湾関係では、国直轄事業として鴛泊港鬼脇港区の南防波堤改良工事が継続実施されるほか、二m物揚場の実施についても国に対し継続要望しており予算計上しております。

また、海の駅おしどりフェリーターミナルについては、設置から六年経過したボーディングブリッジの安全対策、アマポーラ宗谷就航による停泊時の電源容量を確保するため、フェリー岸壁陸電施設の機能向上に関する工事を実施してまいります。

鴛泊港については、大正九年の築港から百年、昭和四十五年のカーフェリー就航から五十年となる節目の年となります

ので、鴛泊港活性化推進協議会と連携し、記念イベントの実施など、みなとのにぎわい創出を図るとともに、将来の鴛泊港のあるべき姿について話し合う場として、港湾関係者による「みなと懇談会」を実施致します。

次に観光業についてですが、令和元年度上期における観光客の入込数は十二万七千人で前年同期比六百人の減少、宿泊客延数は六万八千八百人で三千四百人の減少と、いずれも微減となっております。ただし、下半期の観光入込数はまだ集計前でございますが、前年を上回り推移していると聞き及んでいるところであり、通年観光に向けた取り組みが着実に芽を出してきているものと実感しているところです。

新年度におきましても、滞在・体験型観光の取り組みを柱として、サイクルツ



リズムや、恋する灯台、白い恋人の丘といったロマンズの聖地巡りなど、テーマ別観光による新たな旅行需要を創出していくとともに、観光客等旅行者の受入環境整備を推進してまいります。

具体的には、特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用した滞在型観光推進事業の実施、観光協会の運営や取り組みに対する支援、姫沼園地及びオタマリ沼周辺のWiFi環境の整備、ファミリーキャンプ場、北麓野営場の維持補修などのほか、観光地域づくりを推進するため、稚内市、豊富町、猿払村、利礼三町の一市五町村で構成する地域連携DMO法人設立に向けても積極的に取り組んでまいり所存です。

新型コロナウイルスによつての観光産業に与える不確定要素も十分考えられませんが、影響が最小限に留まることを願うものであります。

また、開町百四十年を記念し、利尻富士町観光大使である半崎美子さんに「利尻島の歌」制作とコンサートの実施を依頼し、快諾いただいているところでありますので、記念式典開催時期に合わせて行えるよう進めております。

次に、商工業についてですが、地域経済の発展には商工業の振興、活性化が必要不可欠であります。商工会の運営に対する支援や地域振興券事業（プレミアム商品券事業）を継続実施していくとともに、町内の商工業者が行う地域振興の取り組みについて支援していきたいとの思いから、新たに本定例会にて「利尻富士

町商工業振興条例」を上程しておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

一、離島住民のコスト緩和に向けた取り組み

昨年一月、フェリー運賃の値上げが行われましたが、離島住民は有人国境離島特別措置法により従前と変わらない金額で乗船できることとなっております。しかしながら、十月の消費増税、JR北海道の鉄道運賃の値上げ等によつて更なる乗船運賃の値上げや車両運賃、離島住民以外の方の運賃の値上げもあり、食糧物資や建設資材の高騰、観光客への影響など、負担が重くのしかかっている現状を国に対し離島関係町で制度改善を強く求めています。



また、漁業者・漁協・行政が一体となり、離島漁業再生支援交付金等を活用し、漁業の再生に向けた漁場の改善と種苗放流の取組により、生産力向上の好循環を生み出し、国が直接販売業者に支援する離島ガソリン流通コスト支援事業についても同様に実施され、航空路線運賃につきましても運賃の低廉化のほか、日本航空（JAL）・全日空（ANA）とも、お客様のより良い利便性及び負担軽減を図るため、従来より行っております離島住民割引制度等の助成について継続してまいります。

通年運航のJAL便（利尻―丘珠間）は、昨年同様、春のゴールデンウィーク及び、お盆期間の増便につきましても運航する予定です。海の日とスポーツの日を含む七月二十三日から二十六日まで、敬老の日と秋分の日を含む九月十九日から二十二日までの、それぞれ四連休においても増便を予定しておりますので、運航時間など決まり次第、周知いたします。季節運航となっているANA便（利尻―新千歳間）は、本年も六月から九月までの四カ月間、運航されることになっており、今後も離島住民の生活、医療、観光、経済の活性化に必要な生活路線でありますので運航事業者に赴き、航空路線の維持・存続を図ってまいります。本年は、JAL便及びANA便とともに機材更新により、現段階でお客様に提供できる座席数が増える予定ですので、町民の一層の利用に期待をしております。

であります。

また、チャーター便は、一昨年からFD A（フジドリムエアラインズ）が就航しておりますが、東京オリンピック・パラリンピックの開催によつて本年の就航は叶うことが出来ませんが、利尻島への需要は高いものと聞いており、北海道でも支援策を検討していただいておりますので、来年度以降のチャーター便就航を求めてまいります。

利尻空港で使用している車両配備については、北海道より一昨年からスノーシューパー車の更新をされていますが、今年度につきましても三台目の更新を予定しており、運航に必要な地上体制の整備を要望してまいります。

町道改良及び補修事業につきましては、駕泊市街四号線改良、旭浜海岸側溝改修、鬼脇パークゴルフ場横道路の舗装補修を実施し、住民の方々が安心して利用できるよう道路整備を進めてまいります。

道道整備の主なものでございますが、令和元年度より工事が着手されております旭浜地区は、国勢橋・旭浜橋の架け替えと、富士野地区につきましましては、大雨時に富士野橋（利尻ぐりーんひるイン横ボックスカルバート）の上下流で水位が上昇し溢れ出す危険性があることから、その対策等の調査と防雪柵設置に係る用地調査等が実施される予定となっております。道路利用者が安心して通行できるよう道の維持管理と整備促進について継続して要望してまいります。

住宅施策につきましては、平成三十年、

平成三十一年三月会議の中で答弁していただきました民間賃貸住宅建設支援制度ですが、国からの交付金を活用できるよう北海道との協議が済みましたので、条例制定についてこの会議に上程させていただいております。

公営住宅の整備につきましては、「利尻富士町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、老朽化の進んだ団地について順次個別改善を進めてまいります。今年度は、第二船見ヶ丘団地一棟四戸の改善工事、見晴ヶ丘団地一棟二戸の除却工事、長寿命化計画の見直しを実施予定としております。

まちづくり関係では、令和元年十二月会議で鴛泊市街地まちづくり協議会、鴛泊市街地整備促進期成会の皆様と協議し、見直しを図った鴛泊市街地街並み環境整備方針内容を説明いたしました。その中でも触れております旧消防庁舎については、跡地をイベント・駐車公園用地として活用できる空間でもあることから、社会資本整備交付金を活用し解体する予定であり、それに付帯している旧消防車庫・旧町営公衆浴場についても併せて事業実施いたします。

上水道につきましては、住民生活を支える大切な資源であり安定した給水が求められることから、水質・施設機器維持管理に努めてまいります。事業につきましては、旭浜地区の道道改良工事に伴う橋梁架け替えのため配水管の添架工事を実施いたします。

下水道事業では、下水道ストックマネ

ジメント計画を基に施設の計画的かつ効率的な維持管理に努めてまいります。

宗谷森林管理署所管の治山事業は、昨年から継続事業による港町地区の山腹固定工事と、ヤムナイ沢の床固工事、森林・保安林整備では防火線の刈払い及び下刈りを本泊・鴛泊・鬼脇地区で予定しております。

以上のとおり、離島地域で生活している住民が、本土との条件不利性を緩和し全国的に均衡がとれた制度になるようナショナル・ミニマム（国が国民に対して保障すべき生活水準）といった観点から国や北海道に対して、実情を訴え、講ずるべき対策等を協議していただき、地域住民の生活基盤の改善を図ってまいります。

三. 安全・安心な 防災機能の充実

日本各地で起こっている地震や台風など、異常気象が常態化しているとも言われ、多くの自然災害が発生していることから、本町での有事を想定し、毎年防災対策の整備を進めておりますが、大規模・長時間停電によるライフラインのダウンに備え、鬼脇支所庁舎に非常用電源を確保します。

鬼脇地区の防災拠点施設としての本部機能、情報通信機能の確保を図るべく、停電時も無給油で二日間稼働可能な発電装置を備え付け、災害対策に万全を期するものであります。

また、訪日外国人の来島が増えつつあ

るなか、三カ国語版（日本語、英語、中国語）の防災ガイドブックを作成し、町ホームページの更新も含めて避難情報等を提供できるよう整備を進めてまいります。

消防関係では、風水害出動や捜索活動に対応できるよう消防団員へ、レイノウエアールと災害用ヘルメット、ヘッドライトを個人貸与し、装備の強化充実を図ります。

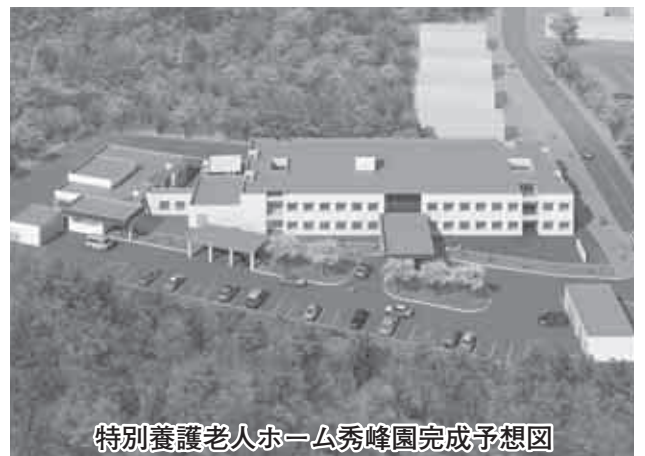
救急業務につきましても、救急隊員の専門知識や技術習得に努め、救急救命士八名体制を維持しつつ、救命率を向上させるために現在三名いる気管挿管救命士を一名増員させるため、旭川医大病院へ派遣させ四名体制にして救急業務体制を充実させます。

また、消防学校専科救助課程へ職員一名を入校させ、知識・技術の向上を図ります。

稚内建設管理部の砂防事業では、オチウシナイ川の堰堤工事を補正予算及び通常予算で実施し、リヤウシナイ川につきましても継続で堰堤工事が行われ、宗谷総合振興局林務課では、野中地区の保育事業が実施予定されておりますので、治山・砂防の推進につきましては、町民が安全な生活が確保できるよう国・北海道へ要請をしております。

四. 健やかに安心して暮らせる 環境づくり

本町の高齢化率は三十八・二％と昨年



特別養護老人ホーム秀峰園完成予想図

度より〇・四ポイント上回り、北海道内の市町村高齢化率の順位としては九十四番目、宗谷管内では三番目に高い比率になっており、超高齢化社会を迎え、医療や介護が必要な状態になっても、できる限り住み慣れた地域で安心して生活を継続できる環境を整備していくことが課題となっております。

今夏に供用開始する特別養護老人ホーム「秀峰園」は個性と生活リズムに合わせた「個別ケア」が可能となり、入居者の自立を尊重した介護ケアが実現いたします。

利尻島老人保健施設では、開設当初から使用していたナースコール設備及び電動ベッド二台の取替を行い、利用者の利便性向上を図るとともに厨房用備品としてコンビオーブンを更新し、心のこもつ

た食事の提供に努めます。

介護サービス施設の運営にあたっては、利用者の意向を十分に尊重し、入居者や通所者が安心して利用できる適切なケアプランのもと、心のこもった信頼される質の高い施設サービスを提供できるように指導、徹底を図ってまいります。

駕泊診療所につきましては、脇本先生の着任以来、総合診療によって外来患者が増えていることもあり、本年度は超音波画像診断装置を更新し、医療の充実を図ります。また、札幌からの整形外科医師の出向による診療体制についても、派遣機関や国保中央病院との連携のもと継続してまいります。

近年、医療ニーズを併せ持つ重度の要介護者や認知症高齢者が増加するなど、医療及び介護の連携の必要性はこれまで以上に高まっています。特に、認知症への対応については、状態に応じた適切なサービス提供の流れを確立するとともに、これまで同様地域包括ケアシステムを構築するための取り組みと、島内医療機関との連携を図りながら、保健、介護、医療サービスの向上に努めてまいります。

地域の健康課題を克服するため、「すこやか健診」への受診勧奨に努めるとともに「乳がん検診」では、これまで四十歳以上としていた対象者を三十歳以上に引き下げるとともに、乳がん・子宮がん検診の受診枠の拡大を図ります。

また、健康教育事業をはじめ健康づくり研修会などにおいて、健診・医療・介

護データから見る地域の健康課題を明確化し、効率的・効果的な保健事業を実施することやその評価を行い、重点課題への対策に取り組んでまいります。

児童福祉では、新たな子ども・子育て支援事業計画に沿ってニーズに合った支援策を進めるとともに、保育所の運営に關しては、昨年十月からの本町独自の拡大措置を含めた保育の無償化を継続し、令和二年度入所予定の五十一名の保育サービスの充実に努めてまいります。

五. 未来を切り拓き 豊かな心を育む社会づくり

近年の教育行政を取り巻く環境変化や新たなニーズに、スピード感をもって的確に対応するため、総合教育会議により定めた「利尻富士町教育大綱」の三つの基本指針である、「社会で活きる実践的な学力を育成する教育の推進」、「安心・安全教育環境の整備と支援の推進」、「生涯学習の充実と文化・スポーツ活動の振興」を基に教育政策の目標を掲げ、それぞれの施策を着実に進めていく所存であります。

「ふるさと教育体験事業」として、北海道エアシステム(HAC)の協力により、五月二十七日に小学校六年生を対象とした遊覧飛行を計画しております。子ども達が利尻島の地形や風景を上空から見学することで、自分たちが育んできたまちに誇りを持ち、生涯忘れることのない経験をさせたいと思います、五年目となる

本年も予算計上をしております。

また、本年から新たに利尻高校生に模擬及び検定試験の一部について補助金を支給すべく予算計上をしておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

未来を切り拓くたくましい子どもを育てる学校教育の充実と、明日を担う心豊かな人づくりと文化を育む取り組みを推進するため、学校・家庭・地域等関係機関が連携し、効果的な事業の展開に努めてまいりますので、教育行政執行の内容も含め詳細につきましては、このあと島谷教育長から申し述べますのでお聴きいただきたいと思ひます。

地方創生関係(2/2)

地方創生関係につきましては「利尻富士町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿って行っており、各項目においても触れているものもありますが、これまでも継続している出産支援事業や子ども医療費の無償化、結婚イベントとして「島コン」への助成の成果を期待しながら若者の移住定住促進事業などのほか、今年度は、滞在型観光事業や観光客誘致対策事業としてWiFi環境の構築、北宗谷観光地域づくり事業としてDMO(観光地経営)構想事業、利尻高校生への通学支援の給付金をさらに拡大し、通学する全ての生徒へ年額五万円を給付することで子育て世代への生活支援を拡充してまいります。

令和二年度財政運営(2/2)

最後に、本町の財政運営について申し上げます。

本町の財政状況は、議会や町民の皆様方の行財政改革に対するご理解とご協力のもと着実に進められており、財政健全化法に基づき四つの指標はすべて国の基準をクリアしています。

これから審議頂きます令和二年度の予算は、本町の厳しい財政状況の中で限られた財源の重点的・効率的な配分に留意し、町民皆様の暮らしを守ることを念頭に予算編成を行ったところであります。

その内、建設事業費は、一般会計・特別会計合わせて十八億九千五百九十三万円となり、前年度対比では特別養護老人ホーム建設事業が二千万目ということがあります。約十・一%の減額を見込んでおりますが、約十九億円の事業費によって地域の雇用、経済の好循環を促すための景気対策を講じようとするものであり、働く場をしっかりと確保します。

また、不足する財源を補うために基金を取り崩し充てることとしており、そのうち、全国から寄せられている「ふるさと応援寄附金」の二億円を有効に活用すべく三十六の事業に充当いたします。

その結果、一般会計の予算規模は四十億六千五百三十万円とし、対前年度比では一億九千三百三十万円増、率で四・九%の増額予算となっています。また、簡易水道事業特別会計ほか九つの特別会計の合計で三十三億五千七百八十九万円。一

令和2年度 建設事業一覧表

【一般会計】

単位：千円

事業名		事業費
総務費	配電設備移設工事	900
	公共施設等解体工事(旧町営公衆浴場)	9,500
	公共施設等解体工事(旧消防車庫)	2,000
	鬼脇支所非常用電源整備工事	4,829
	自治会館等整備事業補助金	2,657
	計	19,886
民生費	鬼脇保育所トイレ改修工事	1,500
	計	1,500
衛生費	火葬炉補修工事	715
	計	715
農林水産業費	離島漁業再生支援交付金	44,012
	海岸漂着物処理業務委託料	6,000
	漁業施設整備事業補助金	3,000
	特定有人国境離島漁村支援交付金	1,300
	計	54,312
商工費	北麓野営場バンガロー床修繕工事	979
	計	979
土木費	町道改良工事(鴛泊市街4号線)	43,100
	町道改良工事(沼浦支線)	2,000
	町道側溝改修工事(旭浜海岸線)	2,500
	町道補修工事	11,400
	鴛泊港整備事業負担金	64,000
	旧消防庁舎除却工事	50,000
	ファミリーキャンプ場維持補修工事	7,304
	公営住宅個別改善工事	42,950
	利尻富士町公営住宅等長寿命化計画見直し業務	4,000
	飛行場標識施設補修工事	1,300
	飛行場灯台設置工事	490
	計	229,044
消防費	防災基盤システムデータ構築業務	637
	外国語防災ガイドブック作成業務	2,876
	光ケーブル移設工事	1,000
	新規加入者増設工事	870
	北海道総合行政情報ネットワーク衛星無線回線更新整備工事負担金	3,465
	計	8,848
教育費	学校施設長寿命化計画策定業務(小学校)	1,100
	学校施設長寿命化計画策定業務(中学校)	1,100
	土地購入費	4,000
	計	6,200
地方創生費	Wi-Fi環境構築業務委託	3,396
	計	3,396
合計		324,880

一般会計・特別会計を合わせた総額では七十四億二千三百九十九万円となり、前年度対比〇.五%増で、六年連続の増額予算としております。

また、将来を見据えた財政運営の安定のため、令和元年度補正予算で、公共施設整備基金に六千三百万円、医療技術者修学資金基金に千五百万円、子ども・子

育て応援基金に千五百五十七万五千円を夫々積立し、財源確保に努めております。

以上、令和二年度の町政執行に対する私の所信の一端と、主要な施策を申し述べましたが、利尻富士町の未来のかたちとして、ふるさとを魅力あふれる宝の島に“となる”ことが出来るよう計画に沿った諸施策をしっかりと実行し、各分野、

各関係者が一丸となって、町のさらなる飛躍に向けて準備を進めていきたいと望んでおり、私が町長就任時から提唱している「町民が主役のまちづくり」を基本理念として、各種の会合の場で住民から頂いた要望や意見等に誠意をもって力の限りを傾注し「豊かな住みよい町」を作るために、ふるさと利尻富士町の先頭に

立つて町政運営に邁進していく所存でありますので、町議会議員の皆様をはじめ、町民皆様の温かいご支援と、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

和二年度の町政執行方針とさせていただきます。

令和2年度 教育行政 執行方針



令和二年利尻富士町議会定例会三月会議の開催にあたり、教育行政の執行に関する方針を申し上げ、議員各位並びに町民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今日、少子高齢化や情報化、グローバル化の進展など社会環境の急速な変化に伴い、子どもたちの規範意識や倫理観の低下、人間関係の希薄化に伴う社会性の未発達などが全国的な教育課題となっています。

本町で育つ子どもたちには、これらの社会情勢の変化に対応し、自らの未来を切り拓いて生きていくための基礎的な力を身に付けさせなければなりません。

そのためには、学校、家庭、地域、関係機関が連携して、子どもたちの学力・体力の向上や心の教育の充実を図る必要

があります。

教育委員会といたしましては「利尻富士町教育大綱」に掲げる基本指針を柱に、本町の未来を担う子どもたちが、自然を愛する豊かな心と高い知性を持ち、二十一世紀を切り拓いてたくましく生きていけるよう学校教育の充実と、明日を担う心豊かな人づくりと文化を育む町に向けた取り組みを推進してまいります。それでは、令和2年度における各分野の主な施策について申し上げます。

一、社会で生きる実践的な学力を育成する教育的な推進

教育の役割は、子どもたちが夢や希望を持ち、自分の未来を切り拓いて生きていけるよう、基礎的・基本的な知識や技能を身に付けさせることにあります。

このため、学校、家庭、地域、関係機関が連携し、「確かな学力」「健康な体」「豊かな心」を育み、児童生徒が自らの夢や希望を実現し社会で活かせる教育を進めます。

① 「確かな学力の育成を目指す教育の推進」

「学力向上」を学校経営の重要な柱の一つとして位置づけ、「宗谷の学力向上プラン」に掲げる「検証改善サイクルの確立」「授業改善の推進」「学習習慣・生活習慣の確立」の三つの柱のもと、各学校では現状分析や重点課題、そして課題解明に向けた「わが校の学力向上プラン」

を推進するとともに、基礎学力向上等を図るため、前年度から取り組んでいる漢字・算数・数学・英語検定の検定料助成を小学生・中学生とも全学年に拡大し実施いたします。

② 「特別支援教育の推進」

特別な支援を要する児童生徒が、自己の能力を高め、自立や社会参加が図られるよう、指導や支援を行う体制の充実を図ってまいります。

新年度における特別支援学級は、鴛泊小学校二学級、利尻小学校三学級、駕泊中学校一学級の六学級体制となります。

これと並行して、特別な教育的支援を要する児童生徒の在籍学級に配置する特別支援教育支援員の増員を図り、教職員を補助し協力して児童生徒の支援に取り組んでまいります。

③ 「へき地・複式教育の推進」

本町では、児童生徒数が減少傾向にあり、今後、極少人数や複式学級の増加が予想されています。他者との触れ合いを大切にした多様な学習活動の工夫や個に応じた指導の充実を図っていくなど、少人数の特性を生かし、一人ひとりを伸ばすへき地・複式教育を推進してまいります。

④ 「国際理解教育の推進」

経済社会のグローバル化により、異なる文化や生活習慣を持つ人々とも協調して生きていく態度が求められています。

小学校では、新学習指導要領の開始に伴って英語教育が本格的に実施され、小学校三年生から英語に慣れ親しむ「外国語活動」が始まり、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力の育成が進められてまいります。

これに対応するため、指導用図書導入や、外国語指導助手（ALT）による指導や外国語に親しむ機会の充実、小中連携、中高連携による外国語教育の充実を図るなど、教育課程の改善充実に努めてまいります。

⑤ 「情報・環境・産業・キャリア教育の推進」

社会の高度情報化が急速に進展し、地球規模の環境問題がクローズアップされ、産業のグローバル化によって貿易自由化の流れも一層進展する中、児童生徒がそれら社会の変化に柔軟に対応できる力を育てていくことや、将来、社会人・職業人として自立していくことができるよう、社会的・職業的自立の基礎となる能力や態度を育てるキャリア教育の充実が求められています。

情報機器の基本的な操作能力や様々な情報に適切に対応する情報活用能力等の育成や指導の充実、日常生活の中でも環境に配慮して、主体的に行動できる実践力の育成や指導の充実、地域や産業界の協力の下、体験学習や体験活動・職場体験など地域社会と連携した産業教育やキャリア教育の充実に取り組んでまいります。

⑥「道德教育やふるさと教育など主体的に判断する心の育成」



自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度を育てるなど、道德教育の充実に取り組んでまいります。

また、体験的活動を重視し、教科等の枠を超えた横断的・総合的な教育活動等に取り組みほか、社会教育と連携し地域行事等への参加促進を図るなど、ふるさとへの愛着や誇りを育み、地域社会の一員としてまちづくりにかかわる人材の育成など、ふるさと教育の充実に取り組んでまいります。

学校や社会教育施設の図書を整備充実、読み聞かせ活動の継続的な取り組みなど読書活動の推進を図るとともに、児童生

徒が自分の考えを持ち、表現しながら考えを形成・深化させたり、よりよい人間関係を形成できるよう、各教科、道德、外国語活動、総合的な学習の時間等における言語活動の充実を図り、コミュニケーション能力を高める学習活動の充実に向けた取り組みを推進いたします。

いじめ防止や不登校児童生徒への支援のため、日常から児童生徒と教職員の信頼関係の醸成とお互いに伸び伸びできる人間関係の構築に取り組んでまいります。

⑦「豊かな人生の基盤となる体の育成」

体力・運動能力は、健康の維持だけでなく、意欲や気力など精神面の充実にも大きく関わっており、豊かな人生を送る基盤として大切なものです。

児童生徒が運動やスポーツの楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって豊かに実



践していくことができるよう、体育・保健に関する一層の充実や、家庭・地域と連携した取り組みを進めてまいります。

また、栄養摂取の偏りや朝食欠食といった食習慣の乱れによって、肥満や生活習慣病、食物アレルギー疾患等の増加など、健康課題は多様化していることから、学校・家庭・地域が連携、協働して社会全体で食育活動や健康づくりに取り組んでまいります。

二. 安心・安全教育環境の整備と支援の推進

子どもたちの健やかな成長を促すためには、安心して学べる場と安全な教育環境の整備が大切です。

このため、町が有する教育施設や設備等をより効率的に活用するとともに、社会の変化に対応した教育施設や設備を計画的に整備して、安心・安全で質の高い教育環境の充実を図ります。

①「学校施設・設備の充実」

学校施設は地域の拠点として極めて重要な施設であることから、安全性や機能性を維持していかなければなりません。このため、「学校施設長寿命化計画」を策定し、施設の維持・再生や機能向上などを効率的・効果的に進めてまいります。

また、国では児童生徒一人一台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させ

るGIGAスクール（一人一台環境）構想など、教育のICT（情報通信技術）化に向けた環境整備を進めており、本町でもこれに沿った整備を進めてまいります。

②「学校運営の改善」

教職員の子どもと向き合う時間の拡充と指導準備時間等を確保するため、校務支援システムや校務用のパソコンソフト及びイントラの整備導入など、教職員が本来担うべき職務に専念できる環境の整備を進めてまいります。

③「学校段階間の連携・接続の推進」

子どもたちの発達段階を踏まえた教育活動の連続性を図るため、授業公開や実践交流等を積極的に進め、保小中高における連携・交流体制の確立に努めてまいります。

④「教職員の資質の向上」

各学校の教育課題を明確にし、児童生徒の実態に即した研修活動を継続的・計画的に実践し、児童生徒の学力の実態を踏まえた研修活動の積み上げを日常的に進めてまいります。

また、本年度より小学校から必修となつていくプログラミング教育の指導体制強化のために、小中学校全教職員を対象とした研修会を共催するなど、利尻富士町教育研究会とも連携し後押しを続けながら、個々の教職員の資質向上に努めてまいります。

三、「生涯学習の充実と文化・スポーツ活動の振興」

町民が心豊かで生きがいのある生活を送るためには、生涯を通じて積極的に学び、その成果を生かせる環境が必要です。

そのため、町民一人ひとりが豊かに学び、文化やスポーツを楽しむ環境を整えるとともに、地域を担う人材の育成を支援するために、効果的な事業の推進を図ってまいります。

①「生涯学習の推進」

学校教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、趣味など多様な学習機会を通じて、町民一人ひとりが自己の人格を磨き、豊かな人生を送れるよう生涯学習社会の実現に向けた取り組みを推進いたします。

また、公民館や社会教育施設等の既存施設の効率的な活用を推進し、町民が利用しやすい環境整備を図るとともに、今後十年間を見通した「生涯学習推進計画」の策定をいたします。

②「青少年の健全育成」

青少年の心と体の健全な育成を促し、自主性・社会性や正義感、倫理観を持った豊かな人間性を育むため、多様な学習活動、体験活動を経験できる活動機会の創出を図ります。

学校と家庭・地域の連携を図りながら、



子どもたちの放課後の安全・安心な場所づくりと体験活動を通じた「放課後子ども教室事業」を継続実施します。具体的には、放課後や振替日・長期休業中に行なっている平日・日ふじっ子教室、週末や休日にはバトミントン教室・書道教室・水泳教室など、地域全体で子育てを推進する仕組みづくりに取り組みます。さらに、利尻富士町青少年健全育成町民会議と連携し、夏休み・冬休みなどの長期休業時に、北海道教育大学旭川校や利尻高校の協力のもと「チャレンジ教室」を継続実施いたします。

③「文化・芸術活動の推進及び文化財の保存と活用の推進」

心のゆとりや潤いに繋がる文化・芸術活動は人生の生きがいとなり、生涯学習

社会の中で果たす役割は重要です。地域に根差した文化・芸術活動を推進し、優れた文化・芸術に触れる機会を提供いたします。

また、歴史や伝統を伝える様々な文化財の保全に努めるとともに、歴史文化の伝承活動にも積極的に取り組んでまいります。

具体的な取り組みとして、町文化協会や南浜獅子神楽保存会の活動に対する支援、郷土資料館植物園の整備、利尻富士町の文化遺産を活用した学び交流事業として、島外の研究者等を招いての利尻学講座や開町百四十年記念展示、新たな文化遺産の掘り起こしなど、記念すべき年に先人の功績にスポットを当てた事業を展開してまいります。

④「スポーツ活動の推進」

町民の誰もが、それぞれの体力や年齢どこでも、いつまでも安全にスポーツに親しむことができる活動機会の提供、及び生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の整備を推進してまいります。

具体的には、町内スポーツ少年団の育成支援、町体育協会の活動に対する支援、地域におけるスポーツ推進の中核的な役割を担う指導者の育成、各種スポーツ大会やイベントに対する支援を実施します。とくに今年度は、利尻島一周悠遊覧人Gが二十回目の記念大会であることから、島全体を巻き込んだ体制づくりに一層力を入れます。

また、社会体育施設についても適正な維持管理を図り、学校開放なども積極的に取り入れながらスポーツに親しむ活動機会の提供に取り組んでまいります。

教育委員会として

教育委員会としましては、利尻富士町教育目標及び教育大綱に掲げた、本町が目指すべき教育理念及び基本方針に基づく各施策を、学校・家庭・地域・関係機関と連携の上、しっかりと実行してまいりますので、町民の皆様並びに町議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

終わりに、現在、新型コロナウイルス感染症が各国で拡大しており、本町でも、感染症の拡散防止のため、小学校・中学校が休業となり、子どもたちは外で遊ぶことすら自由にできない状況となっております。

この感染症が早期に終息し、一日も早く、子どもたちの元気な声が、学校に、町に戻ってくることを心から祈念し、令和二年度の教育行政執行方針といたします。



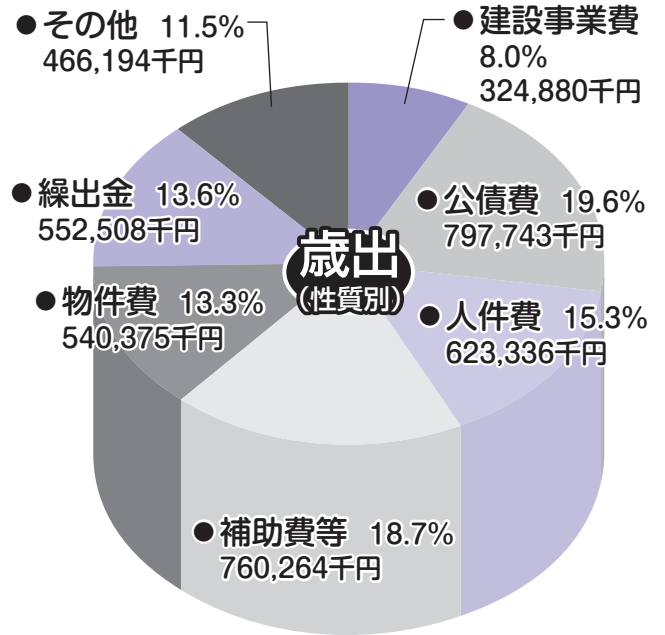
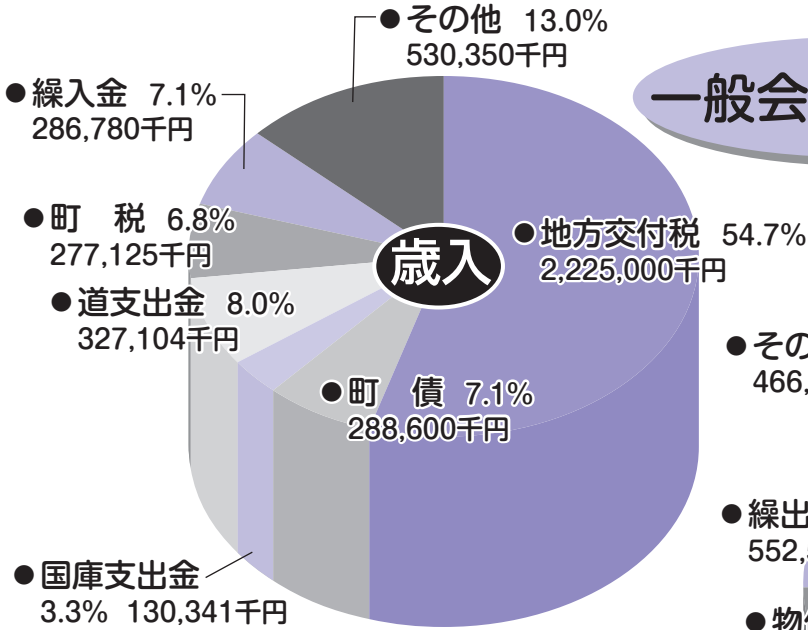
一般会計の歳入・歳出予算額は…

40億6,530万円

令和2年度の当初予算額は、前年度比4.9%の増となっております。特別会計の合計33億5,789万円と合わせた町の予算総額は74億2,319万円で、令和2年度当初予算と比較すると、約0.5%（3,404万1千円）の増額となります。

令和2年度の
予算概要
をお知らせします。

一般会計予算は？



特別会計予算

単位：千円

	令和2年度	令和元年度	比較
簡易水道事業特別会計	69,911	87,468	△ 20.1%
下水道事業特別会計	205,840	194,283	5.9%
港湾整備事業特別会計	93,509	65,761	42.2%
温泉事業特別会計	59,765	62,062	△ 3.7%
国保事業特別会計	421,299	399,569	5.4%
後期高齢者医療特別会計	55,059	49,290	11.7%
介護保険事業特別会計	335,500	335,304	0.1%
介護サービス特別会計	1,969,969	2,186,870	△ 9.9%
歯科施設特別会計	70,090	57,200	22.5%
国保施設特別会計	76,948	77,342	△ 0.5%
合計	3,357,890	3,515,149	△ 4.5%

目的別歳出予算

単位：千円

科目	予算額
議会費	44,907
総務費	609,296
民生費	526,126
衛生費	307,010
労働費	83
農林水産業費	119,079
商工費	173,571
土木費	801,908
消防費	195,420
教育費	253,156
地方創生費	30,823
公債費	797,743
諸支出金	203,177
災害復旧費	1
予備費	3,000
合計	4,065,300

わがまち タイムスりっぷ

連載^{⑤1}

築港以前の鵜泊みなと

利尻富士町は、今年で開町140年を迎えるとともに、鵜泊港築港から100年を数えます。今回は、大正9年に築港される以前の明治時代に撮影された写真を紹介します。

写真1は、明治35年の春の様子で、時化で破壊された網から散乱したニシンを回収している小船が写っています。また、ペン岬の付け根には、破壊される前の小山（モペシ）が往時の姿をとどめています。

写真2は、明治44年に撮影されたもので、近藤林太先生（明治42年～昭和6年まで本泊小・鵜泊小校長を歴任）のアルバムに収められていました。

築港される以前の港には、本州と行き来していた弁才船（大型木造帆船）も停泊しており、当時の物流経済の様子が垣間見えます。



写真1 明治35年の鵜泊港
(殖民公報第43号所収)



写真2 明治44年の鵜泊港

記事に対するご意見などは、教育委員会 山谷：電話82-1370までお寄せください。

今知りたい!!

管理栄養士のまめ知識

夏バテに! 新型コロナウイルスに負けない!?
免疫のおはなし

1 「免疫」とは?

体内に侵入してくる細菌やウイルスなどから、自分自身の守るための**防御反応**です。

2 免疫力を下げないために! 食事のできること

① 1日3食バランスの良い食事をしっかり食べましょう。

② 「ビタミンA」、「ビタミンC」、「ビタミンE」が豊富に含まれている**緑黄色野菜**を摂りましょう。



③ 腸の免疫細胞を活性化する**発酵食品**や**食物繊維**を摂りましょう。



3 パパッとクッキング♪ ～うち時間を有効に☆～

かぼちゃ餅 【材料(4個分)】

～餅～	～タレ～
かぼちゃ (200g)	醤油 (小さじ1)
片栗粉 (大さじ2)	砂糖 (小さじ1)
サラダ油 (大さじ1)	みりん (小さじ1)
バター (10g)	片栗粉 (小さじ1)



まめ 冷凍カボチャでもOK

まめ かぼちゃはビタミンA、ビタミンC、ビタミンEなどを多く含み、肌や粘膜、免疫力の強化に効果があるといわれています。

まめ かぼちゃは、ずっしり重く、ヘタの周りがくぼんでいるものを選びましょう。

レシピ

温める



かぼちゃの種とわたを取り、ラップをして600Wで3分間電子レンジで温める。(潰せる固さまで温める。)

潰す



温かいうちにかぼちゃを潰し、片栗粉を加えて混ぜる。

まめ 片栗粉を加える前に取り出したら生後5か月頃、片栗粉を加えてから小さく丸めて茹でると生後9か月頃の離乳食にも利用できます。

焼く



サラダ油とバターを鍋に入れ、バターが溶けたら餅を入れる。弱火で片面2分ずつ焼く。その間に、タレの調味料を全て混ぜておく。

完成



餅に焦げ目がついたら、タレを鍋に加えて、弱火で1分火にかけて完成。

新型コロナウイルス感染症のおさらい

全世界で約700万人の感染者が出ている新型コロナウイルス感染症。今一度、新型コロナウイルス感染症の事を知り、「感染しないよう」「感染させないよう」いまできることを考えましょう！

コロナウイルスとは？

コロナウイルスには、一般の風邪の原因となるウイルスや、「重症急性呼吸器症候群(SARS)」2012年以降発生している「中東呼吸器症候群(MERS)」ウイルスがあり、現在流行しているのが「新型コロナウイルス(SARS-CoV2)」です。

ウイルスは自分自身で増えることができず、粘膜などの細胞に付着して入り込み増えます。健康な皮膚には入り込むことができず表面に付着するだけと言われてい

ます。表面についたウイルスは時間がたてば壊れてしまいますが、物の種類によっては24時間～72時間くらい感染する力をもつとされています。

流水と石けんでの手洗いや手指消毒用アルコールによって感染力を失わせることができます。



どうやって感染するの？

現時点では、飛沫感染（ひまつかんせん）と接触感染の2つが考えられます。

(1)飛沫感染 感染者の飛沫（くしゃみ、咳(せき)、つば など）と一緒にウイルスが放出され、他者がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。

※感染を注意すべき場面：屋内などで、お互いの距離が十分に確保できない状況で一定時間を過ごすとき

(2)接触感染 感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、自らの手で周りの物に触れると感染者のウイルスが付きます。未感染者がその部分に接触すると感染者のウイルスが未感染者の手に付着し、感染者に直接接触しなくても感染します。

※感染場所の例：電車やバスのつり革、ドアノブ、エスカレーターの手すり、スイッチなど

※このほかにも多くの対応がなされます。



新型コロナウイルスに感染しないようにするために

感染経路の中心は飛沫感染及び接触感染です。人と人との距離をとること（Social distancing：社会的距離、ソーシャルディスタンス）、外出時はマスクを着用する、家の中でも咳エチケットを心がける、さらに家やオフィスの換気を十分に

にする、十分な睡眠などで自己の健康管理をしっかりする等で、自己のみならず、他人への感染を回避するとともに、他人に感染させないように徹底することが必要です。

また、閉鎖空間において近距離で多くの人と会話する等の一定の環境下であれば、咳やくしゃみ等の症状がなくても感染を拡大させるリスクがあるとされています。無症状の者からの感染の可能性も指摘されており、油断は禁物です。

これらの状況を踏まえ、「3つの密(密閉・密集・密接)」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒や咳エチケットの励行などをお願いします。



主な新型コロナウイルス感染症対策

経済対策

●一人当たり10万円の支給～特別定額給付金

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためには、生活の維持に必要な場合を除き、外出を自粛し、人と人との接触を最大限削減する必要があります。人々が連携して一致団結し、感染予防に留意しつつ、迅速に町民一人一人に**10万円**の支給を行っております。

●利尻富士町休業協力・感染リスク低減支援金事業

新型コロナウイルス感染症予防のため、北海道における緊急事態措置を受けて店舗の休業や営業時間の短縮、感染リスクの低減など自主的な取り組みを行う事業者を対象に支援金を**10万円～20万円**支給します。

●子育て世帯への臨時特別給付金

小学校などの臨時休業などにより新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援する取り組みの一つとして、児童手当受給世帯に臨時・特別の一時金を給付いたしました。対象児童一人につき、**1万円**までとなります。

感染予防対策

●町民用マスクの配布

1回目の配布は4月21日(火)に各世帯に大人用マスク7枚、子ども用マスク7枚を配布。2回目は5月2日(土)に各世帯一人につき10枚の配布をしています。

●各小中学校の休校

国の「緊急事態宣言」、道の「緊急事態措置」を受け、利尻富士町では2月27日～5月31日までの間で通算89日間休校とし、感染リスクの低減に努めました。

●北海道スタイルの実施による感染拡大の防止

事業者の皆さまへ「7つのポイント」への取り組みをお願いします

 マスク着用・ 手洗いを徹底します	 衛生管理を 徹底します	 こまめに換気します	 消毒・洗浄します
 一定の距離を とっています	 お客様へ噴霧エチケット・ 手洗いを勧めます	 取組を お知らせします	 北海道スタイル

「北海道スタイル」はじめよう。

道民の皆さまへ「新しい生活様式」の実践をお願いします

 いまは、 きよりとって	 手を洗おう	 咳エチケット	 換気をしよう
 3つの「密」を さげよう	 マスクアウトや デリバリーも	 オンラインを 上手に使おう	 北海道スタイル

「北海道スタイル」はじめよう。



上記で紹介したもの以外にも国による多くの対策があります。また、町としても、状況を見極めながら、随時経済対策や感染予防対策を追加実施していきます！



町内新就職者紹介

- ①出身地 ②配属先
- ③趣味・特技
- ④今後の抱負



あべ ひとみ
阿部 瞳さん

①利尻富士町
②鬼脇保育所 保育士
③映画鑑賞
④とっても元気いっぱいの子ども達に毎日楽しませてもらっています。コロナウイルスの影響で行事なども中止や短縮となっていて残念ですが、他の先生方と協力しながら子どもたちが少しでもこれまでと変わらず楽しく保育所生活を送れるよう、保育していきたいと思っています。



かが やかすひと
可香谷一人さん

①利尻富士町
②利尻富士町役場 教育委員会 企画管理係
③音楽鑑賞 習字
④利尻島に住み続けたいと前々から思っていました。社会人としては未熟と感じたため、一度島から離れました。現在は島から離れる前より、社会人としてのふるまいができるようになりましたがそれでもまだ足りない部分が多いと思います。まずは皆さまの足を引っ張らないように、仕事を覚えていこうと考えています。



きし もと も え
岸本萌絵さん

①札幌市
②鷺泊保育所 保育士
③掃除 ダーツ
④早く仕事に慣れて、毎日たくさんの子ども達と笑顔で過ごし、苦手なピアノも練習していきたいです。



さわ だ なみよ
佐和田波代さん

①沖縄県 宮古島
②特別養護老人ホーム秀峰園 看護師
③琉球料理 ウォーキング 登山
④令和2年4月1日から秀峰園に勤務しております。残り少ない介護職の人生を夫や子供達にわがままを言い、北海道に憧れて太平洋と東シナ海の間にある隆起サンゴ礁の沖縄県宮古島から来ました。魚介類や山菜等が豊富な鬼脇の魅力に発見と感動の毎日です。優しく、温もりのある秀峰園職員とのチームワークで正しい判断の意見が言える雰囲気づくりを図り、いつも笑顔で対応していきたいと思っています。



なか むら ま なみ
中村真波さん

①神奈川県
②特別養護老人ホーム秀峰園 介護職員
③スポーツ 興味を持つこと
④一日でも早く仕事業務を覚え、先輩方や入居者様の一員となれるよう努力していきたいです。利尻での生活もたくさん満喫させていただきたいと思っています。



みなみ ゆめの
南 夢乃さん

①札幌市
②総合保健福祉センター 管理栄養士
③ピアノ スキー
④食を通して赤ちゃんから高齢者まで、多くの方と携わりたいです。美味しく実践してもらえる食育ができる管理栄養士を目指します。町の食文化について学び、町の美味しい食材をもっと知りたいです。いつかドライブで島を一周してみたいので、日々車の運転練習をしようと思っています。



ゆ がわ あきら
湯川 哲さん

①名寄市
②利尻富士町役場 会計課 税務こくほ係
③走ること
④利尻富士町役場でお仕事をさせて頂きまして「もう2ヶ月…」と感じております。お仕事での抱負としては、できることを一つ一つ増やしていけたらと思います。未熟でご迷惑をかけることがあると思いますが、これからよろしくお願ひいたします。



よし み ゆう た
吉見雄太さん

①小樽市
②総合保健福祉センター 保健師
③旅行 絵 登山 (初心者)
④総合保健福祉センターの一員として、先輩たちのように住民の方から信頼され、頼りになる保健師になりたいです。そのために丁寧に仕事をして、積極的に住民一人一人とコミュニケーションを取りたいと考えます。

警察官紹介



鴛泊駐在所 ^{えん どう} 遠藤 ^{あつし} 篤さん

利尻富士町の皆様、初めまして。鴛泊駐在所に着任いたしました遠藤篤と申します。簡単に自己紹介させていただきます。年齢は今年で35歳になります。妻と3人の子どもを連れて利尻島に来ました。出身も警察官としてのスタートも札幌市で、こちらに来る前は稚内署で勤務しておりました。島に来て約2ヶ月が経ちますが、家族全員で自然溢れるこの島に来れた事を大変嬉しく思っています。2年間どうぞよろしくお願いいたします。



鬼脇駐在所 ^{あへ やす ひろ} 阿部 泰大さん

本年4月1日から鬼脇駐在所で勤務している、阿部泰大です。利尻島には昨年の山岳遭難の出動で一度来たことがあり、その際にお世話になった島民の方々の温かさ、利尻山をはじめとする抜群の自然環境に感動したことを今でも覚えております。離島体験がなく、まだまだ未熟者ですが、島の安全と安心を守るため精一杯頑張りますので、これからもよろしくお願い致します。

ベビビートワ



4人の元気な赤ちゃんを紹介するよ!



^{あら きりゅう た} 荒木 隆太くん
R2. 1. 8 生

【両親】隆史・小百合
【住所】港町
はじめまして、あらきりゅうたと申します。産まれた時は、とても小さくて、心配されましたが、今は、足もブクブクになって、元気いっぱいに育っているよ。最近をよく笑うようになりました。どこかで見かけたら声をかけてね!



^{みかみ あおしろう} 三上 葵士郎くん
R2. 3. 24 生

【両親】憂人・麻美
【住所】栄町1
はじめまして。僕の名前は葵士郎です! 毎日おっぱいを沢山飲み、パパとゆっくりお風呂に入り、騒がしいお兄ちゃん2人と優しいお姉ちゃんに囲まれて毎日楽しく過ごしています!! もう少し暖かくなったらお兄ちゃんと散歩に出かけますので、見かけたら声をかけてくださいね!!



^{こばやし そうすけ} 小林 奏介くん
R2. 3. 24 生

【両親】和博・裕子
【住所】栄町1
みなさん、はじめまして! 小林家の長男の奏介です。予定よりちょっと長くママのお腹にいたけれど今は元気にすくすく育っています! お風呂とドライブが大好き♡パパとママをいつもメロメロにしているよ! これからよろしくお願ひします!



^{さわ めもる} 澤目 萌令ちゃん
R2. 4. 14 生

【両親】大輔・未生
【住所】鬼脇1
コロナウイルスで世の中が大変な時に無事、元気に生まれてきました。明るく、優しい女の子に育ってね。家族でたくさん楽しい思い出作ろうね。

地域おこし協力隊員を紹介するよ〜♪



陳 佩欣さん

【出身地】台湾
 【担当業務】観光協会事務局
 【趣味】釣り、サイクリング、サッカー
 【特技】旅行、ハイキング、料理とお菓子作り

【今後の抱負】今年4月1日に田村町長から、利尻富士町地域おこし協力隊の委嘱状をいただきました。これから利尻島で本格的な暮らしが始まりますが、利尻富士町地域おこし協力隊の一員として、一生懸命頑張っていきたいと思っております。

実は2年前に一度利尻島でアルバイトをしていました。利尻島から離れて、台湾に帰国しても、京都で専門学校に通っているときも、利尻島で感じられた自然風景の魅力や島の皆さんの温かい親切心とやさしさ、利尻島の旅を期待し気持ちのいい旅をした満足な笑顔の観光客の姿、ずっと胸に刻まれて、忘れられなかったです。これからも、もっと、もっとたくさんの人々に利尻島の美しさを伝えていきたいです。

今年は新型コロナウイルスの影響で、観光や漁業、他の産業など経済につきましては、大変厳しい時期とは思っています。出来る限りの事を、地域おこし協力隊の一員として、利尻島ならではの自然な景色、豊かな漁業、たまらない海産物など、日常生活でたくさんのいい取材をして、新型コロナウイルスが収まった後に「旅をしたい！利尻島へ旅をする！」と思われるような宣伝方法を考えて発信をしていきたいです。

これからも、私の抱負である世界中の人々が、いつか旅をするときに「利尻島に旅へ行こう！私と利尻島で会いましょう！」という思いを叶えるために、目標を立てて精いっぱい努力していきます。島民の皆様、何卒よろしくお願いたします。

戸籍の窓口

★お誕生おめでとうございます★

保護者	続柄	氏名	月日	住所
荒木 隆史・小百合 様	長男	隆 汰 (りゅうた) くん	R 2.1.8	港 町
塚本 裕樹・文 恵 様	三男	碧 夢 (りむ) くん	R 2.1.14	清 川
佐竹 大紀・乃 藍 様	長女	恋 來 (こ こ) ちゃん	R 2.2.4	鬼 脇 1
大高 元気・楓 様	長女	木 春 (こはる) ちゃん	R 2.2.21	栄 町 1
三上 憂人・麻 美 様	二男	葵 士郎 (あおしろ) くん	R 2.3.24	栄 町 1
小林 和博・裕 子 様	長男	奏 介 (そうすけ) くん	R 2.3.24	栄 町 1
澤目 大輔・未 生 様	長女	萌 令 (も る) ちゃん	R 2.4.14	鬼 脇 1

♥ご結婚おめでとうございます♥

月日	氏名	住所
R 2.3.6	鎌倉 拓海 様	鬼 脇 1
	平沼 七海 様	鬼 脇 1

◆お悔やみ申しあげます◆

氏名	月日	年齢	住所	氏名	月日	年齢	住所
安達 清 様	R 1.12.4	90歳	湾 内	佐藤 金彌 様	R 2.2.11	83歳	鬼 脇 2
木村一二三 様	R 1.12.12	96歳	鬼 脇 2	嶋中 英峯 様	R 2.2.14	93歳	秀 峰 園
川口 政美 様	R 1.12.17	77歳	鬼 脇 2	菅原 ミヨ 様	R 2.2.15	90歳	秀 峰 園
野上 輝子 様	R 1.12.19	91歳	秀 峰 園	高橋 美佳 様	R 2.3.8	47歳	栄 町 1
戸嶋ヒロ子 様	R 1.12.19	83歳	野 塚	吉田 茂夫 様	R 2.3.21	91歳	栄 町 2
廣田ウキヨ 様	R 2.1.14	87歳	本 泊	佐藤 ミツコ 様	R 2.4.9	94歳	雄 忠 志 内
小杉美枝子 様	R 2.1.16	86歳	本 町	諸澤 諫 様	R 2.4.10	82歳	栄 町 2
松田 アイ 様	R 2.2.5	102歳	雄 忠 志 内	京谷 タヨ 様	R 2.4.29	96歳	栄 町 2
雑子アキヨ 様	R 2.2.10	91歳	栄 町 1				

編集後記

徐々に暑い日が増え、夏の到来を感じる時期となってきました。気温が上がると、冷たい食べ物がより美味しく感じる気がします。さて、1月に新年号を発行して以降、北海道では新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、利尻富士町にも水産業や観光業の基幹産業をはじめ、様々な方面で悪影響が今もなお続いております。次回の発行は、開町140年（町名変更30年）記念号として10月の発行を予定しておりますが、その頃には利尻富士町にも活気が戻っていることを期待したいと思います。

人口のうごき (令和2年5月31日現在)

	男	女	計	世帯
鴛 泊	821	873	1,694	845
鬼 脇	353	382	735	435
合計	1,174	1,255	2,429	1,280